

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月16日

計画の名称	下関市宅地耐震化推進事業（第 期）（防災・安全）													
計画の期間	令和05年度 ~ 令和06年度（2年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	下関市													
計画の目標	宅地耐震化を進め、災害時の被害を軽減するため、地震発生時に大きな被害が発生する可能性がある大規模盛土造成地の所在・規模等を調査・公表する。 さらに、安全性の把握を進めることで、災害リスクに対する住民の理解を深め滑動崩落による被害の未然防止を促進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		36	A	36	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	R5末	R6末
1	大規模盛土造成地のうち、優先度評価を実施する盛土を458箇所から644箇所に増加（第二次スクリーニング計画策定） 基礎資料整理、現地踏査、優先度評価 優先度評価実施箇所 / 186箇所	0%	100%	100%
2	優先度評価を実施した大規模盛土造成地のうち、危険度の検証を行い、宅地所有者に情報提供する盛土を4箇所実施（第二次スクリーニング） 現地調査及び安定計算等の実施、箇所別危険性確認結果の土地所有者への情報提供 情報提供箇所 / 4箇所	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A13-001、A13-002												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	下関市	直接	下関市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画の 策定	下関市						24		-
	A13-002	宅地耐震	一般	下関市	直接	下関市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング	下関市						12		-
											小計						36		
											合計							36	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
下関市都市整備部建築指導課において事後評価を実施	令和7年度
	公表の方法
	下関市ホームページにて掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	大規模盛土造成地のうち、優先度評価を実施する盛土を458箇所から644箇所に増加する計画で、令和5年度に186箇所の優先度評価を実施したところ、2箇所は大規模盛土造成地に該当しないこととなり、盛土は642箇所となった。 また、第二次スクリーニング計画において「優先的に第二次スクリーニングを行う必要がある」と評価した大規模盛土造成地（4箇所）に対し、地盤調査及び安定計算等の第二次スクリーニングを実施した結果、当該盛土が中程度の地震（震度5弱程度）で崩壊する可能性が低いことが確認された。その結果を、市のホームページで公表し情報提供を行った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%